





事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	H19～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	労働生産性						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進						

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 ・りんご新しい化栽培など省力・低コストで早期多収が望める栽培技術の普及や県オリジナル品種等の有望品種の生産拡大など、産地活性化に向けた新たな取組が進みつつある。 ・「NAGANOワイン」や県産ワイン用ぶどうの評価が高まる中、新たなワイナリーの設立やワイナリー、新規参入者等によるワイン用ぶどうの作付面積が拡大している。 【目指す姿】 ・「シナノリップ」等、県オリジナル品種の作付が拡大するとともに、りんご新しい化栽培やぶどう平行整枝短梢せん定栽培等、高収量や省力化を図る技術が普及し、需要に応じた計画生産により、安定した果樹経営が営まれている。 ・新規参入者等によりワイナリー数やワイン用ぶどうの生産量が増加するとともに、県内ワイナリー等が必要とする苗木が県内から安定供給されている。 【実施内容】 価格安定のための資金造成及び交付、農業者の育成、オリジナル品種の増産体制、基盤の整備、苗木の需給安定や増産に向けた体制・基盤の整備										
	指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]										
	No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度
									前年度繰越		
	1	果樹戦略品種等の栽培面積	2,019ha	2,191ha↗	2,390ha↗	2,151ha	達成		現計予算	5,450	6,732
	2	ワイン用醸造品種の栽培面積	269ha	301ha↗	344ha↗	340ha	達成		合計(A)	5,450	6,732
	3								うち一般財源	5,046	6,095
	4								決算額(B)	5,305	4,029
成果指標設定理由	①実需者からの要望や苗木の生産計画等に基づき設定 ②現状のワイン用醸造品種栽培希望面積と苗木供給能力から設定										
達成状況の分析	①長野県オリジナル品種等の戦略品目への改植が進んでいる ②県内ワイン用ぶどう栽培希望者が順調に増加している										

主な取組	①信州新果実の生産振興 ✓新品種シナノリップの市場評価向上 ・東京の主要市場（大田市場と築地市場）で、仲卸業者等にPR ✓新品種クイーンルージュ®の出荷規格検討 ・令和4年デビューに向けて市場関係者との検討会を開催（2回）	 開場初年度の築地市場でシナノリップをPR	 クイーンルージュ®の出荷規格を検討
	②ワイン用ぶどうの生産振興 ✓ワイン生産アカデミーの開催 ・新規参入者を対象にワイナリー起業に必要な基礎知識習得を目的とした研修会を開催（全2回 受講者32名） ✓ワイン用ぶどう栽培技術習得セミナーの開催 ・ワイン用ぶどう栽培初心者を対象に、実習形式のセミナーを開催（全4回 受講者26名）	 ワイン生産アカデミー	 ワイン用ぶどう栽培技術習得セミナー

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課題等	今後の方向性
	生産者の戦略品目への関心は高く改植が進んでいるが、一部の苗木で供給不足が発生している。 新品種の市場への定着には時間がかかることから継続が大切。 検討を重ねてきたクイーンルージュ®の出荷規格については、令和4年度までに内容の精査と生産者への周知徹底が必要。 ワイン用ぶどう関係者を対象に実施してきた研修会や、生産者の情報共有の場として実施した「NAGANO WINE 栽培情報プラットフォーム事業」により多様な関係者のすそ野の広がり及び活性化が見られる。今後は、より高品質なNAGANO WINEにつながるぶどう生産振興に向けて、個々のレベルにあった支援の充実が必要。	必要な苗木の供給力向上を支援する。 新品種の特性にあった市場展開を進める。特にデビューを目前に控えるクイーンルージュ®については生産者と市場双方に対して綿密に準備し、最大限の効果発動を狙う。 高品質ワインにつながるぶどう栽培技術のスキルアップや生産者の将来的な自立・成長に向けた支援を目的に、個々の生産者のレベルにあった研修会・検討会を開催する。

事業番号	09 04 02	細事業一覧（令和元年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	果樹振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
細事業No.	細事業名		H30年度決算	R1年度決算				
1	果実計画生産出荷促進資金造成事業		2,443 千円	2,443 千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)					
1	果実計画生産出荷促進資金造成事業	補助金	りんごについて、果実（生果）価格の大幅な低下を防ぐため、産地・生産者が計画的な生産や出荷量の調整等の需給調整を実施するにあたり、指定果実集出荷事業者等がその指導調整に要した経費について一般社団法人長野県果実協会が助成するのに必要な資金を造成した。					
細事業No.	細事業名		H30年度決算	R1年度決算				
2	ワイン生産アカデミー事業		540 千円	330 千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)					
1	ワイン生産アカデミー事業	直接	「信州ワインバレー構想」に基づき、県内でワイン用ぶどう栽培やワイナリー起業を希望する意欲ある新規参入者の掘り起こしと、ワイナリー起業に必要な基礎的な知識・技術の習得及び起業意欲醸成を目的に「ワイン生産アカデミー」を2回開催（32名受講）。また、県内でワイン用ぶどう栽培を開始したばかりの初心者を対象に、高品質で安定した原料生産に向けた栽培技術習得セミナーを4回開催（26名受講）。					
細事業No.	細事業名		H30年度決算	R1年度決算				
3	良質なりんご・ワイン用ぶどう苗増産支援事業		0 千円	981 千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)					
1	ワイン用ぶどう苗木緊急増産支援事業	直接	「信州ワインバレー構想」の具現化に向けて高品質なぶどう苗木を供給する体制を構築することを目的とした原母樹の維持管理					
2	りんごフェザー苗木増産支援事業	補助金	りんごフェザー苗木の増産に必要な専用台木（M9ナガノ）の母株養成ほ場の整備・管理を支援					
細事業No.	細事業名		H30年度決算	R1年度決算				
4	信州新果実市場評価向上事業		0 千円	275 千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)					
1	「シナノリップ」宣伝会の実施	直接	市場向け求評会の開催（東京 大田市場、築地市場）を開催し、卸・仲卸業者への認知度向上に取り組んだ。適期収穫研修会の開催（1回）等により、生産者の生産・出荷技術向上に取り組んだ。					
2	「麗玉」卸・仲卸向けトップセールスと宣伝会の実施、品質向上のためのマニュアル改訂	直接	卸・仲卸向け宣伝会（大阪市中央卸売市場）を実施し、今年度から麗玉®・シナノパールの本格出荷が始まった関西方面の認知度向上に取り組んだ。シナノパール栽培マニュアル（第2版）を発行（2,000部）し、生産者の栽培技術向上を図った。					
3	「クイーンルージュ®」モニター調査の実施、PRリーフレットの作成	直接	大田市場と検討会を開催（2回）し、出荷規格案（たたき台）を作成した。生産者向けに特性等を紹介するリーフレットを作成（10,000部）し、生産拡大を図った。					